

昆陽だより

2024年10月 秋号
 昆陽だより発行委員会事務局：
 幕張公民館内
 千葉市花見川区幕張町 4-602
 電話 043-273-7522
 (受付時間 9:00~17:00)

驚異の樹木“イチョウ”

イチョウは約2億年前の地質時代から生き残った最古の植物です。世界には約10万種類の樹木があるといわれていますが、イチョウは特異な植物で途方もない長い歴史を持ち、人との長い関わり合いがある樹木です。

イチョウの歴史、変遷

イチョウの果実である銀杏は特有のにおいを持つことから好んで食べる動物はいませんでした。唯一恐竜に食べられ世界中に広がったそうです。その後さまざまな地球変動で動・植物の殆どが全滅しました。その中でイチョウは奇跡的に中国に1種類だけ残り、薬や食用として重宝がられ、今度は人間の関与によって中国全土に広げられました。日本には室町時代に中国から伝来し各地に広まってきました。イチョウは人間の手によって植樹されたクローンです。

イチョウの顕著な特徴、効用など

- ・イチョウは雌雄異株(しゆういしゆ)で雌花と雄花が株ごとに分かれていて、雄花は実を付けません。土地を選ばず生命力が強く、接ぎ木や挿し木でも根付き、長命で大木に育ちます。
- ・街路樹、公園、寺院神社の境内などに多く植えられています。他の木に比べて葉が厚く、水分が多く燃えにくく火に強いという性質があります。街路樹は約57万本が植えられ一番多く、黄葉する美しさから、美観上のインパクトや排気ガスに強いことから選ばれます。また寺院神社には1923年関東大震災で、浅草寺を火災から守ったことから火除けの「防火樹」として広がっていききました。
- ・薬用としては、種子を銀杏と呼び鎮咳薬に用いられたほか、葉はしもやけの治療に利用されてきました。最近では認知症、アルツハイマー、高血圧などに効果があるとされています。
- ・銀杏は食用としてはビタミンB1やミネラルのバランスが良く栄養価も高く、疲労回復、イライラ解消など効果的です。食べ過ぎると吐き気、下痢、震え、痙攣などの中毒症状が現れます。食べ過ぎに注意し、秋の味覚を楽しみましょう。食べる目安は人によって異なりますが、大人で6~7粒、小人で1~2粒ぐらいが無難だとされています。

イチョウは現在も化石時代と同じ姿で生き残った樹木で「生きた化石」とも呼ばれています。天に向かって伸びた樹木は、秋が深まるとその葉は色鮮やかな黄金色に染まり、道行く人々の目を楽しませ、秋の風物詩として定番となっています。

地元にも皆さんご存じの子守神社の境内にある270年の樹齢を誇るイチョウや宝幢寺の大イチョウがあります。また、武石町にも真蔵院の円筒形に刈り込まれた見事なイチョウの木もあります。





★ ★ ★ ま ち の た よ り ★ ★

◎第 66 回市民体育祭兼 第 53 回幕張地区町民家族運動会

10月12日(土) 午前9時～ 幕張東小学校

◎子安神社秋季大祭

10月17日(木) 午後3時頃より 御神楽・餅まき

◎幕張地区文化祭

10月19・20日(土・日) 幕張公民館

◎三代王神社秋季大祭

10月20日(日) 午後3時頃より 御神楽・餅まき

◎花見川区民まつり

10月27日(日) 午前10時～午後3時 花島公園

◎幕張コミュニティまつり

11月10日(日) 午前10時～午後3時 幕張コミュニティセンター

※実施の内容については各神社などにお問い合わせください。



さざれ幼稚園にマツケン現る!



7/6(火) さざれ幼稚園に俳優の松平健氏ご一行、約20人がサプライズ訪問しました。

これは、日本テレビでライブ放映された番組「THE MUSIC DAY」の中で取り上げられたものです。この番組は、～幕張から8時間生放送・テーマはサプライズ!～というもの。この中にマツケン軍団が街に出て「マツケンサンバ」を踊る豪華目玉企画があり、幕張町のさざれ幼稚園がパフォーマンスをする場所の一つとして選ばれました。園児たち(約200人)は驚き、大変喜び大はしゃぎ。歌いながらのびのびとした元気な踊りを繰り広げていきました。後日園に取材をしたところ、マツケンサンバを一緒になって踊ったことは園児たちにとって思い出深い体験になったそうです。

今日のスケッチ

電車のスキマ時間のつぶし方

秋と言えば、観光のシーズン。自分は子どもの頃、乗り物酔いをしてしまう体質だったため、電車に乗るのが苦手で、いつも旅行ではしよげていました。ある日、旅行中にそんな様子を見ていた親戚の一人が乗り物酔いや退屈を紛らわすには面白い方法を教えてくれました。それは建築中の建物を数えるということです。小さな工事も含めれば意外に「あれも?これも?」と見つかります。動く景色から次々と探ることが嬉しくなればしめたもの。あっという間に愉快的な気持ちが上がりです。スキマ時間はスマホを眺めるのが習慣である方もたまには目についた「何とか探し」を電車の窓からしてみるのも一興ではないでしょうか。





☆☆☆ 公民館からのお知らせ(10月~12月分) ☆☆☆

◎主催事業のご案内

講座名	詳細
<p>特別史跡加曾利貝塚-雑学としての貝塚-</p> <p>加曾利貝塚とはどういう場所なのか、なぜ貝塚の時代は長く続いたのかお話しします。</p> 	<p>10/29(火) 10:00~11:30</p> <p>対象:成人 定員:40人(抽選) 参加費:無料 申込方法:往復はがき、または幕張公民館 HP から 申込:10/1(火)~10/8(火) 必着</p>
<p>SDGs って結局のところなんだろう?</p> <p>SDGsの本質に迫る講義です。大学教授に学びます。</p> 	<p>11/17(日) 10:00~12:00</p> <p>対象:中学生以上 定員:20人(抽選) 参加費:無料 申込方法:往復はがき、または幕張公民館 HP から 申込:11/1(金)~11/8(金) 必着</p>
<p>子供の料理教室</p> <p>鶏むね肉のグリーンサラダと牛肉のハヤシライスを作ります。</p> 	<p>11/30(土) 10:00~12:30</p> <p>対象:小学3~6年生 定員:15人(抽選) 参加費:無料 申込方法:幕張公民館 HP から 申込:10/1(火)~10/12(土) 必着</p>

なお、内容・日程等は、変更・中止になる場合があります。

図書室 から

「この本読んでみたい!」今日も図書室で元気な子どもの声が聞こえます。人気のキャラクターや、新発売された本に手が伸びるのはあたりまえかもしれません。しかし、一方『11ぴきのねこ』や『三びきのやぎのからがらどん』、『はらぺこあおむし』のような昔から大事に読み継がれてきた本も大切にしていきたいと思っています。これからも図書室に来て、はじめて見たけれど読んでみたい本や、大人の方であれば懐かしいと感じる本があれば手にとってみてください。もし、お探しの本がありましたら一緒にお探しますね。

☆さいきん買った本(以前の本ですが面白いですよ)☆

- 『エミールくんがんばる』 トミー・ウンゲラー(文化出版局、1975年)
- 『歯いしゃのチュー先生』 ウィリアム・スタイグ(評論社、1991年)
- 『ピーターのくちぶえ』 エズラ=ジャック=キーツ(偕成社、1974年)



☆雑誌の無償配布について☆

10/19(土)、20(日)に開催する予定の幕張地区文化祭にあわせ、些少ですが幕張公民館図書室で除籍した雑誌を無償にて配布いたします。先着順一人2冊となりますのでご了承ください。詳しくは図書室に掲示のポスターでご確認ください。

サークル紹介 …幕張地元学同好会

「幕張公民館内に掲げられている肖像画と2階講堂のステンドグラスに関する植物は何か？」の問いに興味を持たれた方は相当な地元通かもしれません。(答えはサツマイモ)。



講堂のステンドグラス



青木昆陽肖像画

公民館近くの昆陽神社に目を向けるだけで、江戸時代の幕張が見えてきたり、開かずの踏切の改修工事で移転したことを思い出したり、石造物を刻み、守ってきた先人達に思いを馳せたり致します。興味を広がり、次々と新しいことを知っていくのは楽しいことです。一緒に地元のことを学びませんか！活動は第2・第3水曜日、月2回です。会員皆で希望を出し合って決める年間計画に沿って実施、バス散策も予定しています。学びを伝える行動(ボランティアガイド)にも取り組んでいます。

(代表 岩垣)

◇ 幕張雑記帳 “幕張”の地名について③

室町時代以降に“幕張”の表記が“馬加”に変わりますが、これには次のような伝承が残されています。当時の幕張地域の領主は千葉康胤でした。文安2年(1445)に康胤の奥さんが懐妊し産み月を過ぎても出産の気配がありませんでした。心配した康胤は領内の主要な神社の神主に安産祈願を命じ、その祈祷のお陰か無事に男子が産まれました。



建物の建つ高台が「幕張城趾」とされる場所

これを聞いた領内の村々から、御幣で飾りをした馬を引いた人々が館に大勢集まってきました。康胤はこの事を喜び、馬が多数集まって来る(加わる)様子から“幕張(まくはり)”を“馬加(まくわり)”へと地名を改めたと記録が残されてされます。またこの時から康胤も千葉康胤から馬加康胤に名乗りを変えました。

宝暦6年(1756)の子守神社棟札にも「千葉郡本郷須賀ノ庄馬加宿」とあり、江戸時代も馬加の表記が続きました。その後も明治の初めまでは馬加郷や馬加村が正式な地名として引き継がれました。

明治22年(1889)の村制施行により幕張村大字馬加となり、明治28年(1895)の町制施行により幕張の表記が一部復活し、最終的には昭和29年(1954)に千葉市に編入され現在の幕張町になり、この時をもって馬加は地名から消えました。…シリーズ終了。



御幣

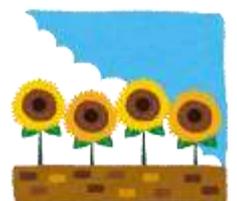
ティータイム

この夏の1ページから～

我が家は幕張小学校の西側にあり、登下校の小学生の元気な姿が垣間見られます。今年の夏、西側の道路沿いのフェンス沿いに100m近くにわたり「ヒマワリ」を主とする他の花々を植えてくれました。7月より次々と咲き、児童はもとより通行する人々を楽しませてくれました。

中にはスマホで撮る方も、また足を止めて見入る方も…。

夏休みで児童はお休みでもお花が見られるなんて、なんとも微笑ましくて、うれしくて、学校の心づかいに感謝しています。暑い夏もしばしひっこんでしまいました。



(I.O)